



1万円以下のモデルも登場

北欧ミニマルを身近にする SUDIOの新作イヤホン

北欧ミニマルなオーディオ製品を探している方にお薦めなスウェーデン生まれの「SUDIO」。
今秋登場するイヤホン/ヘッドホンも、彼らのデザイン哲学が色濃く反映されたオシャレなものばかり！
そんなファッショニスタに選ばれるSUDIOの新作コレクションをご紹介します。

文／長谷川真人
Masato Hasegawa

機能美に溢れたオーディオ機器を驚きの高コスパで!

シンプルなデザイン、高機能、自然を大切にしたものづくり、美しいニュアンスカラーなど、SUDIO（スーディオ）は北欧デザインの王道をゆく製品づくりで人気のブランドだ。デジタル技術の進化も早く栄枯盛衰の激しいイヤホン/ヘッドホンのジャンルにあって確かな地位を獲得しているのも、ジェンダー問わず使えるものづくりが評価されているからだろう。もうひとつ、SUDIOはコスパの高さも優秀。高額なモデルでも2万円を超えることは少なく、ラインアップのほとんどが1万円未満。その多くは6,000円前後とファッションアクセサリー感覚で複数カラーを揃えたいくなるブライスののだ。

そんなSUDIOから今秋登場予定の新製品情報が本誌にいち早く届いた。特にお薦めしたいのは完全ワイヤレスイヤホンだ。今春登場した「A1 Pro」「A1」はいずれもステムがあるスティックタイプ。A1 Proはノイズキャンセリング機能を搭載したカナル型で、A1はイ

ンナーイヤータイプだ。カラーバリエーションが豊富なのが特長だが、いまこの2モデルがSUDIOの中でも人気を集めて定番と呼ばれるほど売れている。そこにイヤバズタイプの「T3」がラインアップに加わる。ポイントは「驚くほど小型」なこと。小顔の女性でもイヤホンが落ちてしまう心配は少ないくらいに小さく、ケースも薄いのでバッグに入れても邪魔になることはない。そして最新のBluetooth SoCを採用したことも忘れてはならない。Bluetoothのバージョンは新しい方が接続安定性は高まるが、T3は2024年8月現在で最新の5.4に対応する。サウンドはズーンと深く沈む量感たっぷりのベースが印象的。クラブミュージックなど重低音に浸りたい楽曲を気持ちよく鳴らす。といっても籠もり感はない。中高域はキビキビと鳴らすため、ボーカルは明瞭に聴こえるし、シンバルのきらめきなども上手に再生する。

オーバーヘッド型ヘッドホンも2機種登場する。ひとつはノイズキャン



完全ワイヤレスイヤホン

イヤバズ型で
超小さい

SUDIO T3

¥5,940(税込/予価) ▶投票 No.049

SPEC ●通信方式:Bluetooth Ver.5.4 ●コーデック:SBC ●連続再生時間:約6時間(ケース込み25時間) ●質量:約3.5g(イヤホン片耳/実測値)、約26.2g(ケース/実測値) ●付属品:イヤークリップ(XS/S/M/L)、充電ケーブル



ノイズキャンセリング
完全ワイヤレスイヤホン

SUDIO A1 PRO

¥6,900(税込)

▶投票 No.050

SPEC ●通信方式:Bluetooth Ver.5.3 ●コーデック:SBC ●ドライバー口径:10mm ●連続再生時間:約3時間(ANC ON時、ケース込み最大30時間) ●質量:約3.5g(イヤホン片耳)、29.3g(ケース) ●付属品:イヤークリップ(XS/S/M/L)、充電ケーブル

ノイキャン付きの
入門機



お求めやすくデザインが美しいヘッドホンも新作登場!



ノイズキャンセリング
ワイヤレスヘッドホン

SUDIO K2 PRO

¥17,800(税込/予価)

▶投票 No.052

※2024年秋発売予定

SPEC ●通信方式:Bluetooth Ver.5.4 ●コーデック:SBC、AAC ●連続再生時間:65時間 ●質量:約246g(実測値) ●付属品:3.5mmヘッドホンケーブル、充電ケーブル、キャリングポーチ

高性能も備えた
上位機



ワイヤレスヘッドホン

SUDIO R3

¥6,900(税込/予価)

▶投票 No.053

※2024年秋発売予定

SPEC ●通信方式:Bluetooth Ver.5.4 ●コーデック:SBC ●連続再生時間:35時間 ●質量:約148.5g(実測値) ●付属品:充電ケーブル

驚くほどパンチの
ある音

ンセリング機能を搭載した「K2 Pro」。もうひとつがK2 Proとデザインの方向性は共通化しつつ、ひと回りコンパクトになった「R3」である。一番のポイントはデザインだ。電源以外の物理ボタンを廃したシームレスな形状は非常にスマート。アクセントになるヒンジデザインも有機的でオシャレだ。機能面では「K2 Pro」「R3」共にBluetooth ver.5.4に対応した点が特長だ。K2 Proから試してみたが、肉厚のイヤークッションと相まって消音効果が非常にジェントルで驚いた。極端に消音を強めないぶん、ハウリングもなく快適だ。サウンドはZ世代にピッタリなボリュームミッド域再生が特徴的。中高域の解像感があるので音楽のグルーヴ感を味わえるヘッドホンだ。R3はより機能をシンプルにしてボリューム感を出したモデルだが、音はかなりメリハリ重視で好印象。POPSを聴くと絶品だった。ミニマルデザインをお求めやすくゲットするならSUDIOは最有力候補だ。



アクセサリも
新登場!

オーディオ製品を中心に商品展開を続けてきたSUDIOだが、近年アクセサリの開発も行っている。日本にはAC充電器「P1」とUSB Type-C to Type-C充電ケーブル「C1-C」が上陸予定だ。オシャレなアクセサリをお求めの方に!



USB急速充電器

P1

¥1,980(税込/予価) ▶投票 No.054

※2024年秋発売予定



充電ケーブル

C1-C

¥1,100(税込/予価) ▶投票 No.055

※2024年秋発売予定